

# Nexus 3000/9000 : 統合されたインターフェイス ブレイクアウト設定

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[Nexus 3000 シリーズ スイッチ](#)

[Nexus 3064](#)

[Nexus 3132](#)

[Nexus 3164](#)

[Nexus 3172](#)

[Nexus 3232C](#)

[Nexus 3264Q](#)

[Nexus 9000 シリーズ スイッチ](#)

[Nexus 9332](#)

[Nexus 93XXスイッチ](#)

[Nexus 9500](#)

## 概要

同様のコードを実行しているにもかかわらず、さまざまな種類のNexus 3000およびNexus 9000シリーズスイッチには、40Gインターフェイスを分割するための異なるコマンドがあります。このドキュメントでは、特定のプラットフォームのブレイクアウト設定の統合ビューを提供します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する基本的な知識があることが推奨されます。

- Cisco Nexus 3000/9000シリーズインターフェイス設定

### Nexus 3000 シリーズ スイッチ

#### Nexus 3064

3064はブレイクアウトをサポートしていますが、QSFPポートを個別に分割することはできません。すべてを10 GBに分割するか、40 GBに設定する必要があります。これを行うには、ハードウェアプロファイルモードを設定します。

```
N3064(config)# hardware profile portmode ?
16x10g+12x40g 16x10G+12x40G port mode
16x40g        16x40G port mode
32x10g+8x40g 32x10G+8x40G port mode
48x10g+4x40g 48x10G+4x40G port mode
52x10g+3x40g 52x10G+3x40G port mode
56x10g+2x40g 56x10G+2x40G port mode
60x10g+1x40g 60x10G+1x40G port mode
64x10g        64x10G port mode
8x10g+14x40g 8x10g+14x40G port mode
```

コマンドhelpはポートを個別に分割するオプションを提供しますが、これは実際には機能しません。動作するオプションは、48x10g+4x40gまたは64x10gです。

変更を有効にするには、スイッチをリロードする必要があります。

#### Nexus 3132

3132では、40Gポートを個別に分割できます。ただし、3064スイッチと同様に、設定が必要なハードウェアプロファイルモードもあります。

```
N3132Q(config)# hardware profile portmode ?
24x40g        24x40G non-oversubscribed breakout port mode
26x40g        26x40G oversubscribed breakout port mode
32x40g        32x40G oversubscribed breakout port mode
fixed32x40g   32x40G oversubscribed fixed port mode
```

固定32x40Gモードでは、ポートを分割できません。他のモードでは、「speed 10000」コマンドを設定することで、ポートを個別に分割できます。ただし、26x40Gモードを除き、最初の24個のポートだけを切り離すことができます。ただし、使用可能なすべてのポートを切り離すことができます。

「speed 40000」コマンドを使用して再コラプストできます。スイッチのリロードは必要ありません。3064スイッチと同様に、ハードウェアプロファイルモードを設定するにはリロードが必要です。

また、3132には4つのSFP+ポートがあり、最初のQSFPポートとインターレースされます。つまり、最初のQSFPポートまたは4つのSFP+ポートのいずれかを使用できますが、両方を使用することはできません。

デフォルトでは、QSFPポートはオンになっています。次のコマンドを使用して、SFP+ポートを有効にできます。

```
N3132Q(config)# hardware profile front portmode ?
qsfp          Front panel QSFP port 1 is active
sfp-plus     Front panel SFP+ (1-4) ports are active
```

ただし、固定の32x40Gハードウェアプロファイルを使用している間は、SFP+ポートモードを設定できません。

#### Nexus 3164

Cisco Nexus 3164Qスイッチは、Cisco NX-OSリリース6.1(2)I2(2b)以降のブレイクアウトインターフェイスをサポートします。interface breakout moduleコマンドは、Cisco Nexus 3164Qスイッチの64個の40Gインターフェイスをそれぞれ4個の10Gインターフェイスに分割します。合計256個の10Gインターフェイスに対応しますこのコマンドを入力したら、実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーし、デバイスをリロードする必要があります。7.0(3)I1(1)より前のCisco NX-OSリリースのブレイクアウトサポートは、モジュールレベル。モジュールのすべてのポートに適用されます。Cisco NX-OSリリース7.0(3)I1(1)以降では、任意の数のポートを分割できます。

モジュールごとにブレイクアウトするには、コマンドを使用します。

```
interface breakout module 1
```

個々のポートは、次のコマンドで分割できます

```
interface breakout module 1 port <x> map 10g-4x
```

ポートを折りたたむには、このコマンドの「no」形式を使用します。

#### Nexus 3172

3172には、48X10G+ブレイクアウト6x40gという単一のハードウェアプロファイルがあります。40 GBポートは、「speed 10000」コマンドを使用して個別に分割できます。「speed 40000」コマンドを使用して折りたたむことができます。

#### Nexus 3232C

Cisco Nexus 3232Cスイッチは、ブレイクアウトインターフェイスをサポートします。このコマンドは、各スイッチの40Gポートを4つの10Gポート（ブレイクアウトポート）に分割するか、各スイッチの100Gポートを4つの25Gポートまたは2つの50Gポートに分割します。ポート範囲は1 ~ 32です。

```
interface breakout module 1 port <x> map {10g-4x | 25g-4x | 50g-2x}
```

#### Nexus 3264Q

3264は、7.0(2)I3(1)時点でブレイクアウトをサポートします。ただし、このスイッチは128個の論理ポートしかサポートできないため、各40GBインターフェイスは2x10GBモードにしか分割できません。現時点では、ポートを4x10GBモードに分割することはサポートされていません。

## Nexus 9000 シリーズ スイッチ

#### Nexus 9332

9332は、ポート1 ~ 12とポート15 ~ 26でブレイクアウトをサポートします。ポートは、

```
interface breakout module 1 port <x> map 10g-4x
```

ポートを折りたたむには、このコマンドの「no」形式を使用します。

#### Nexus 93XXスイッチ

これらのプラットフォームでは、40Gポートのブレイクアウトはサポートされていません。ただし、QSAアダプタを使用して、40Gポートを10Gポートに変換できます。QSAアダプタは10G-itでのみ使用でき、1Gの速度では機能しません。

#### Nexus 9500

9636PQ、9432PQ、および9536PQラインカードは、ブレイクアウトをサポートしています。モジュールごとにコマンドを使用して分割できます。

```
interface breakout module <x>
```

個々のポートは、コマンドで分割できます。

```
interface breakout module 1 port <x> map 10g-4x
```

これらのコマンドの「no」形式を使用して、ポートを折りたたみます。